

垣生校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成25年8月7日(水) 19:00～20:20
場所 垣生公民館
参加者数 男 62人 女 8人 合計 70人



1. 校区の課題

課題名 垣生小学校の教育施設に関する要望について

質疑応答 (要約)

【質問事項】

平成26年度から、垣生小学校では各学年2学級が予想される。現状でも十分な教室が確保されていないと思うが、今後、どのような対策を考えているのか。

また、体育館について、災害時の避難所として指定されているが、経年による劣化等が目立っている。屋根については今年度、塗装改修を予定しているとのことであるが、他にも出入り口の扉や窓に使用されている材質は鉄製であり、非常に重く、子どもたちの力では開閉が難しい。屋根や側壁の塗装と合わせ、軽量化(アルミ化等)を図っていただきたい。

【教育長回答】

教室数の確保について、現状においては、教室数は文部科学省の基準に準拠した必要数を満たしている。今年度の6年生は1学級であり、来年度の1年生が2学級になると教室の必要数が増えることになる。垣生小学校区に居住する5歳児(来年度新1年生)は30人であるが、文部科学省の基準では、1年生が35人を超えた場合には2学級にしなければ

ばならないことになっており、校区外からの転入によって2学級となる可能性がある。

実際の新入学児童については、10月1日時点で名簿により、就学時健康診断の通知をし、その際に指定学校の変更を希望する場合には、10月中に申請をしてもらうことで把握することになる。

教育委員会として、国への申請も含めて、入学児童数の把握後に対応を検討することになるが、学級が増えた場合の対応として、普通科教室が13教室あり、その内、特別支援教室として2教室（児童数7名）を使っているが、人数のことも考慮し、1教室にすることなども検討していきたい。また、各階にある資料室の活用についても考える余地がある。

体育館の改修については、垣生小学校の体育館は昭和58年に建設し、築後約30年が経過しており、老朽化が進行していることから、屋根については、本年度塗装改修工事を予定している。体育館の扉については、他の体育館でアルミ製の扉にした事例もあるが、ボール等が当たるなどで変形したことから元の鉄製に戻したこともある。アルミ製の扉に変えることは強度などから難しいが、滑りを良くする等の対応を考えたい。

【再質問・意見等】

素材としてステンレスも考えられると思う。また、天井側のレールが古いことも要因と思う。大きな扉でもレール、ベアリングを調整すれば、軽くできる可能性があるので、そのような対応も考えていただきたい。

【教育長回答】

素材やベアリングの件については施設管理の担当者に検討させたい。

【再質問・意見等】

次年度の新入生が30名ということであるが、垣生の番地外から通学している子供はほとんどいない。該当者の多くは八幡一丁目など浮島校区とされている地区からの通学と思うが、元々は垣生校区であり、来年度の新入生が30名から増えるのは确实と思う。1年生が2学級となった場合は、教室の増築等を検討してもらえるのか。

【教育長回答】

昭和25年に浮島小学校ができたときに、西鳥端、町の一部は浮島校区に指定変更となったが、自治会等の地縁の関係で垣生小学校への入学を許可してきた経緯がある。教室が足りない場合の対応は必要であるが、増築等の場合は、場所の確保が問題であり、まずは教室の用途について再検討したい。

※再検討事項 なし

課題名 山端自治会館宅地の登記について

質疑応答（要約）

【質問事項】

山端自治会館が建っている土地は、登記上は無番地となっている。昭和24年に竣工したことは、写真で残っており、それ以後、自治会館として使用している。

平成27年度に、コミュニティ施設、災害時避難施設等として利用するため、自治会館の建て替えを計画しているが、宅地登記がないと建築確認申請もできないことから大変困っている。

そこで、昭和59年9月以来、山端太鼓蔵敷地として新居浜市から借用している土地（垣生三丁目甲72番3）と同様に、新居浜市で所有登記し、自治会で使用できるよう、検討をお願いしたい。

【市長回答】

現地確認及び図面等で確認等を行ったが、山端自治会館が建っている土地については、公図上、地番が付されていない未登記の土地であり、所有者が不明となっている。

地元自治会において、専門業者に委託するなど調査されているが、これまでの国・県との協議を踏まえて、新居浜市として何とかできないのかの観点で校区集会の課題にされたものと認識している。

今回の議題提出があった後、山端連合自治会長、土地家屋調査士等と、市関係者（まちづくり推進員）及び市関係課（管財課、下水道建設課、港務局、農林水産課、農業委員会、市民活動推進課）で情報共有及び協議を2回実施しており、それを踏まえて、3点の報告をさせていただく。

- ①市として所有権を主張できる書類があるかどうかについては、各課で調査したが、市の所有であると主張できる書類はないこと。
- ②公有水面の埋立てについて、埋立て申請の書類等があれば、それにより登記を行うことができる可能性があるが、該当する書類はないこと、また、港務局・農林水産課等の関係課で確認をしたが、該当地は港務局の港湾区域ではなく、また、漁港区域外であることから、公有水面の埋立てを理由として、市で登記はできないこと。
- ③法務局に公文書で照会したが、その見解として、「公図上、地番が振られていない土地の所有は国に属することから、相談のあった土地は『国有地』と思われること。また、土地家屋調査士からも同様の相談があり、同様の返答をした。」とのこと。

これらのことから新居浜市の土地としての登記は難しく、また、国有地であるのなら一定の対価で購入することが現実的と考えられる。

今後は、自治会が愛媛県、法務局、四国財務局等と解決に向けて協議をしていただくことになるが、市としても、できるだけ協力をしたいと考えている。

【再質問・意見等】

山端自治会館から続く南側の4軒については個人の土地で、登記等もできているとのことである。その経過を市で調べることはできないのか。

【市長回答】

南側の土地については、個人所有として登記されていること、また、西側の土地については、市が遊水地の埋立て及び登記を行い、その一部を分割登記の上、山瑞自治会に貸与していることは確認している。

【市民活動推進課長回答】

経過等について、自治会館の南側1軒については、明治25年6月、垣生村時代に、個人が村長を経由して県知事に埋立てを申請し、造成・登記されている。さらに南側の3軒については、後年となるが垣生村が公有水面の埋立てを行い、農地改革後、国の所有から個人の土地になっているとのことである。

自治会館の土地については、造成された記録が残っておらず、砂が溜まりやすい地形であったことから徐々に土地ができたことが推測される。

【再質問・意見等】

平成24年度以降、司法書士に依頼し、解決に向けて努力しているが、前に進んでいない状況である。落成記念時の古い写真を確認すると、「垣生公民館山瑞分館」との記述がある。隣の本郷自治会館は市の所有であり、垣生村と新居浜市の合併時に何らかの理由や経過があったようにも思われる。

この問題を将来に先送りせずに、今の世代で解決したいと考えており、自治会としても、愛媛県等と協議し、解決に向けて取り組みを進めたいと考えていることから、新居浜市も協力をお願いしたい。

※再検討事項 なし

課題名 通行に支障をきたす道路の改良について

質疑応答（要約）

【質問事項】

垣生校区から神郷・多喜浜校区へと続く道路は、市街地や多喜浜工業団地への通勤道路として、特に朝夕は校区内外からの通行車両も非常に多く、地域住民の往来や、児童生徒の通学時には危険を伴う箇所が多く存在する。特にスーパーができてから通行が多くなっていることから、長岩町1-10から同1-6の間の落神川遊水地南側道路に乗用車が離合できる待避所を設置していただきたい。

【市長回答】

該当道路は、県の河川・海岸の管理用の道路であり、市の考えだけで改良することはできず、県と協議が必要である。法面にブロック積を施工すれば待避所を設けることが出来ると思われるが、法面の官民境界がはっきりしていないので、境界確認等条件整備が整えば対応していきたい。

※再検討事項 なし

2. その他

【意見等】 ※回答は不要との補足あり

1点目は、昨年度の課題であった「山端地区漁港南側の空き地の管理」についてであるが、草刈は実施してもらったが、廃船（6隻）の処理はできていない。放置すると増える傾向にあるので、できるだけ早く処理をしていただきたい。

2点目は、空き家対策について、垣生校区でも空き家が増えつつある。全国的な問題と思うが、防犯・安全上対策が必要であり、市としても何らかの対応を検討していただきたい。

3点目は、長寿者祝い金についてであるが、垣生校区では市内でも数少ない敬老会を実施し、長寿者に祝い金を渡している。以前は市の補助金があったが、現在は廃止されており、白寿・米寿・喜寿のとき、また金婚式の祝い金を考えていただきたい。

【回答 市長】

廃船の処理については、担当課に確認し対応したい。

空き家対策について、現況調査は済んでおり対応策を庁内で検討している。他の自治体では解体の経費を補助しているところもあるので、先進事例も参考にしながら方針を決めていきたい。

敬老会祝い金については、平成16年の台風水害に伴い、財政状況が厳しくなったことから廃止した経過がある。長寿を祝うことは必要と思うが、公費支出が可能か等も含めて検討していきたい。